

磐城時報

日刊 八夕
印刷部 石城郡平町新町十四
電話 八八八 八八八
印刷部 石城郡平町新町十四
電話 八八八 八八八
印刷部 石城郡平町新町十四
電話 八八八 八八八

寒さに悩まされる

辯士と聴衆

然し政治的訓練の結果 半途退場者も少ない

近來にない去る五日の寒さは遂に意を強ふるものがある。その夜雪を齎して六日朝珍らある時、恰も如月初めの料峭らしい銀世界を現出したが、元より寒さに盡に民政を迎へるに政の雪と解ける事も早く道友を迎ふる演説受難の選挙民も路は朝の中に早くも銀世界から一方ならぬ大努力である。

仙臺市から 應援辯士

木村清治氏の政見発表演説會は、各地共聴衆殺到し盛況を極めつた。平町學務委員會は八日午後二時から、役場内に開き第一校、第二校昭和三年度豫算を協議する。

平地方昨年中の現金の動き状態

豫想を裏切り預金が増加 貸金回収も好成績

平町地方の昨年中に於ける銀行預け入れの減を拂戻しの増を示したる傾向ありしは他は如何れも拂戻の増と相俟つて預け入れも増加を示し圓滑なる移動状態を見せてゐたが之れを数字に現はすと左記の通りである。

當座預金 預入 七五九、九四四 拂戻 七〇四、三三二
特別預金 預入 三三三、七四六 拂戻 三三三、七四六
定期預金 預入 四九三、四三六 拂戻 五二二、一七三

石城郡内各驛 急に減少

石城地方は昨今正米の出廻り、急に減少し品不足を告げて居り、最近市價は一畝二十三圓八十錢前後で政府買上げ當時より一圓九十錢方強調を示して居る。此の十錢方強調の原因は新舊米の決算出廻り減の原因は新舊米の決算期が過ぎ、先高越しの買たしみの結果である。

返貨	三、〇九、三三三
返貨	一、八二、四九一
返貨	二、八七、三九五
返貨	〇、九四、二四五
返貨	九、三三、一五二

實現の可能性がある 磐城製糸工場

片倉組で愈々實査 交渉委員七日歸平

正米出廻り 急に減少

石城郡内養蠶家は石城地方に製糸工場の建設を多年希望して止まなかつたので石城郡養蠶同業組合では主催となり平町に資本金百萬圓で製糸工場を建設すべく計画中であつたが、之が資本金は郡内養蠶家と東京片倉組とが合同で負擔し經營は片倉組に委託する事が最も適當な方法であると決して去る六日、平町代表伏見彦衛、井上茂作、萩原義雄、松崎菊三郎、平町

磐城講道館有段者會 第二回講道會

來る十三日中村町に開く 當日昇段審査を行ふ

木炭同業 評議員會

第三郡木炭同業組合評議員會は八日午前十時より平町五石城郡役所に開き、決算及び豫算を協議し、本組合を勿來町、川前村、鹿島町に建設し、事及び現在小回作業場、機械場、材料置場、揚を建築し之が完成した上、住宅、製品置場、仕上工場等六四月頃盛大な落成式を舉行する棟が完成した。同工場に据えつ管である。

東北有數を誇る 丸ほん工場完成

更に乾燥場を増設して 花時落成式を舉行

石城郡内各驛 昨年中乗降人員

乘	二、一九、五四九
降	二、二二、九五九
乘	三、三三、六二二
降	三、四四、三三〇
乘	三、六〇、三七〇
降	三、六四、一七五
乘	一、八六、三三一
降	一、八二、七四二
乘	一、七三、四四〇
降	一、七九、八〇九

木炭同業 評議員會

第三郡木炭同業組合評議員會は八日午前十時より平町五石城郡役所に開き、決算及び豫算を協議し、本組合を勿來町、川前村、鹿島町に建設し、事及び現在小回作業場、機械場、材料置場、揚を建築し之が完成した上、住宅、製品置場、仕上工場等六四月頃盛大な落成式を舉行する棟が完成した。同工場に据えつ管である。

東北有數を誇る 丸ほん工場完成

更に乾燥場を増設して 花時落成式を舉行

東北有數を誇る 丸ほん工場完成

更に乾燥場を増設して 花時落成式を舉行

讀者と記者欄

問) 四十三歳の男ですが、昨年妻に先立たれました。家族は老人と子供とで、何かにつけて不自由して居る。ですが、今度廿八歳の婦人と話があり、まうりかけて居ます。此女は元紫次性の丑年で私は六白金性の成年です。九星の本には相性が悪いと書いてあり、年寄もよくないといふ。如何したものでせうか。(秀)

讀者と記者欄

問) 九星とか何とかがいふ事は要するにその人の信仰とか知識程度の如何などに依る事であらう。それを氣にして居る。やうでは後々の爲に、いとは思ひません。手紙で親子に依るならなれば先づそんな風な事ばかり考へて、如何なる性質の女か、老人や子供との事などをつらつらに考へて居らると思ひます。考へ違ひで、大切な事ですが、先づ一つと異面目に考へばなりません。

讀者と記者欄

問) 四十三歳の男ですが、昨年妻に先立たれました。家族は老人と子供とで、何かにつけて不自由して居る。ですが、今度廿八歳の婦人と話があり、まうりかけて居ます。此女は元紫次性の丑年で私は六白金性の成年です。九星の本には相性が悪いと書いてあり、年寄もよくないといふ。如何したものでせうか。(秀)

讀者と記者欄

問) 九星とか何とかがいふ事は要するにその人の信仰とか知識程度の如何などに依る事であらう。それを氣にして居る。やうでは後々の爲に、いとは思ひません。手紙で親子に依るならなれば先づそんな風な事ばかり考へて、如何なる性質の女か、老人や子供との事などをつらつらに考へて居らると思ひます。考へ違ひで、大切な事ですが、先づ一つと異面目に考へばなりません。

石城の造酒

約一ヶ月遅れ

石城郡地方の清酒造り上りは昨今漸く其半に至れる位のもので例年に比し約一ヶ月の節遅れに於ける持越酒が不景氣のため特に多かつたのと本年品評會の出品酒 優等酒を醸造せんことを結果原料米麴師、杜氏等特に選良した等の事情によるものであるが之れがため既に醸造されたもの酒質は頗る良好であるが本年は最寒期に於ける氣温が著しく變調しモロミの温度調節等には少かに苦心を要する。

知事さんと學務部長

座敷替えの一幕

六日午後九時過ぎ折々の泥濘を衝いて一臺の自動車が平町松ヶ岡公園、尼子亭の玄關に横づけと成つた、中から立ち上つた紳士は誰であらう伊藤知事閣下であつた、尼子亭でも前觸れなしの俄の御來臨とてた宿を勤めるべき適當のト等のた部屋が皆、なすがつて居る始末、狼狽したが、下度學校會議指導のため來泊してゐた大久保學務部長の占めてゐる座敷が最上等で、上役の事とて話もつけよからうと女將が恐る／＼推參に及んで譯を話し座敷替を申出たところ當の學務部長より御機嫌とりに其席、侍してゐた某で憤慨し、知事、あらうと大臣だ、と先客を退立てるは、時だ、と嗚り立てるので部長は、飛へた迷惑、返つて校長達に詫言、して宿の御み辛、も座敷がへに及んだとは近頃の滑稽悲劇であつた。

二月九日十日間(創業貳拾週年紀念の爲)

牛豚肉元價

供提

牛	中	肉	百	金	二	五	錢
上	肉	同	同	金	四	十	錢
口	レ	同	同	金	六	十	錢
口	肉	同	同	金	八	十	錢
豚	中	肉	百	金	一	十	錢
口	肉	同	同	金	二	十	錢
廉	食	肉	同	金	五	十	錢
賣	王	肉	同	金	五	十	錢

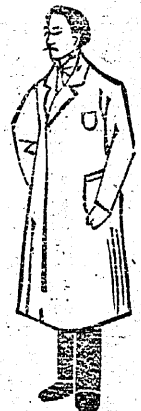
平町停車場前(平劇場入口)
電話五二四番

貸家

白銀町	八、〇〇〇	勤人向	白銀町	二、六〇〇	商人向
仲間町	四、〇〇〇	同	仲間町	一、五〇〇	同
同	五、〇〇〇	勤人向	同	四、五〇〇	同
柳町(勤人向)	八、〇〇〇	同	同	五、五〇〇	同
同	五、〇〇〇	同	同	五、五〇〇	同
同	七、〇〇〇	勤人向	同	二、九〇〇	同
大町(二階)	六、〇〇〇	勤人向	同	八、五〇〇	勤人向
同	七、〇〇〇	勤人向	同	八、〇〇〇	勤人向

平町白銀町(電話三三番)
加藤丈夫營業所

男女首上



化粧品器具
理髮用ボマード
アレ止メ、御白粉下クリーム
フケ取り香水
白衣モ色々有リマス
バリカンハ芳香園印
舶來獨逸製ソリリゲン
レサ英國製ペンガール
舶來大小鏡色々有リマス
銀引修繕モ安價デ出来マス

是非御願店來升
平警署前
芳香園理髮器具店

外科

入院隨意
上田外科醫院
平南町(電話三二九)

移轉廣告

弊院從來福島縣平町驛前通りに於て診療に從事致居り候處今回中田町(舊診療所の裏通り)に新築移轉し従前通り一般診療に從事可致候

平町中田町七十一番地
新築移轉所 合津耳鼻喉科醫院
電話五五九番

醬油と味噌

合谷

福島縣平町
山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七二番
振替東京六八三三番

ゼンソクエキス定價

十五回分金壹圓參拾錢 三十回分金貳圓九拾錢
六十回分金四圓八拾錢 百回分金七圓也

平町四丁目(電話百四十四番)

特約店 小野藥舖

セメント

磐城セメント株式會社
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

代理店 西村屋藥舖
平町一丁目
電話三三番

吸入用酸素

理化學研究所製
優良なる理研の酸素の御用意を……

特約店 關内藥舖
福島縣平町(電話四〇番)
藥劑士 關内榮助

オピール錠

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗

咳止の妙藥

特約店 大平屋藥店
平町一丁目(電話四六二番)

スポンジ

滋養第一
美味、強壯の効
消化の助
血をふやし
肉を肥やす

定價壹圓・貳圓・伍圓

代理店 山野邊藥局
平町五丁目

電話賣物あり

姓名在社——御照會は磐城時報社
電話五〇二番・四〇九番に願ひます